

文京区アカデミー推進計画素案(案)新旧対照表

I 総論

第 1 章 計画策定の趣旨

NO	素案(案)H22. 11. 16【修正後】		素案(たたき台)H22. 9. 30【修正前】
	ページ	内容	
1	P 1 1 計画策定の背景と目的 (1) 計画策定の背景	<p>「文の京」(ふみのみやこ)</p> <p>これまで、文京区は、「文教の府」といわれ、「文化の香り高いまち」をめざして発展してきた。これに寄せる区民の誇りと愛着を大切にしたい。</p> <p>そのうえで、区民と区が、時代の大きな変化に適応しつつ、可能性に富んだこの地を、新たな洗練と成熟の段階へとさらに発展させていく都市自治の姿を「文の京」と呼ぶ。</p>	記載なし
2	P 2 (2) 計画策定の目的	<p>なお、アカデミー推進計画は、これまでに進めてきた「文京区生涯学習基本構想」・「推進計画」・「文京アカデミー構想」の<u>基本部分の考え方を継承するとともに、さらに社会状況の変化等に対応した施策の展開を図るために一本化して引き継ぐものです。</u></p>	<p>なお、アカデミー推進計画は、これまでに進めてきた「文京区生涯学習基本構想」・「文京区生涯学習推進計画」・「文京アカデミー構想」を発展的に解消させたものです。</p>
3	P 2 2 計画の位置づけ (1) 性格	<p>○ 本計画は、<u>基本構想で示されている生涯学習・文化振興・スポーツ振興・観光・交流分野の「分野ごとの将来像～10 年後にあるべき姿～」を実現するために、総合的・体系的に展開するための指針を示すものです。</u></p> <p><u>なお、各部局で実施される関連事業等については、全庁的に調和を図っていきます。</u></p>	<p>○ 本計画は、アカデミー推進部が実施する施策を中心に取りまとめ、計画的かつ効率的に推進するための指針です。</p>
		<p>○ 本計画は、スポーツ振興法に基づく本区のスポーツ振興基本計画に代わる計画とするもので、平成 12 年制定の国のスポーツ振興基本計画を踏まえた計画です。</p>	記載なし

4	P 3 (2) 計画の構成	<p>本計画の構成は、「総論」と「各論」及び「<u>体系別アカデミー推進事業</u>」で構成します。</p> <p>○ 「総論」は、<u>基本構想の将来都市像である「歴史と文化と緑に育まれた、みんなが主役のまち『文の京』や「分野ごとの将来像～10年後にあるべき姿～」を具現化するための基本理念などを、概ね10年程度先を見据えた総合的な観点から掲げたものです。</u></p> <p>○ 「各論」は、<u>「総論」に基づいて、生涯学習・スポーツ・文化芸術・観光・国際交流分野の「基本的な方向」やその方向に沿った、今後、事業計画化を検討すべき事業例等を示したものです。</u></p> <p>○ 「<u>体系別アカデミー推進事業</u>」は、<u>平成22年度に各部局で実施した関係事業を計画の体系別に整理したものです。</u></p>	<p>本計画の構成は、「総論」と「各論」で構成します。</p> <p>「総論」は、文京区が推進するアカデミーに関する「基本理念」「基本目標」「5つの行動」を概ね10年程度の長期的・普遍的な観点から掲げたものです。</p> <p>「各論」は、「総論」に掲げた「基本理念」「基本目標」「5つの行動」に基づいて、生涯学習・スポーツ・文化芸術・観光・国際分野の「基本的な方向」やその方向に沿った事業例等を示したものです。</p> <p>記載なし</p>
5	P 3 3 計画の期間	<p>計画の期間は平成 23 年度から <u>27 年度までの5年間</u>とします。</p>	<p>計画の期間は平成 23 年度から 25 年度までの3年間とします。</p>
6	P 3 4 計画の策定体制 (1) 計画策定体制	<p>アカデミー推進計画の策定は、学識経験者や公募区民委員、団体関係者、区職員から成るアカデミー推進計画策定協議会において、推進計画全体に関わる内容について議論を行いながら策定を進めました。また、これらのメンバーはそれぞれ5つの分科会に所属し、分野別計画についての検討を行いました。</p>	<p>記載なし</p>
7	P 4 (2) 文京区アカデミー推進計画基礎調査の実施	<p>区民の日ごろの学習や趣味・スポーツ・文化芸術活動・観光・国際交流に関する実態やニーズなどを把握するため、平成22年1月に20歳以上の区民2,000名を対象として「文京区アカデミー推進計画基礎調査」を実施し、『文京区アカデミー推進計画基礎調査報告書（以下「調査報告書」という。）』（平成22年3月文京区）をまとめました。</p>	<p>記載なし</p>

第2章 計画の考え方

NO	素案(案)H22.11.16【修正後】		素案(たたき台)H22.9.30【修正前】
	ページ	内容	
8	P 6 2 計画の 3 つの基 本目標 意見	<p>目標3 多彩な連携によるネットワークづくり</p> <p><u>区は、区民・地域活動団体・NPO（非営利活動団体）・大学・事業者など新たな公共の担い手と連携・協働を進め、区民や来訪者が、本区でさまざまな経験を重ね興味や関心を深めたり、充実した時間を過ごせたりすることができるネットワークづくりを進めます。</u></p>	<p>目標3 多彩な連携によるネットワークづくり</p> <p>区民や来訪者が、「文の京」で興味や関心を深めたり、充実した時間を過ごせたりすることができるようにするために、区は、区民・地域活動団体・大学・NPO（非営利活動団体）・事業者など新たな公共の担い手と連携・協働を進め、様々な経験を重ねることができるネットワークづくりを進めます。</p>
9	P 7 3 計画の 5 つの行 動 意見	<p>行動2 <u>さまざまな媒体を活用し情報を分かりやすく「伝える」</u></p> <p><u>あらゆる立場の人が、活動する際にさまざまな媒体を活用し情報を取得することができるよう、情報を分かりやすく提供する工夫をします。また、幅広く相談に応じる体制を整え、情報を必要としている人へ確実に伝えます。</u></p>	<p>行動2 情報を分かりやすく伝える仕組みを「整える」</p> <p>様々な立場の人が、活動する際に有益な情報を取得することができるよう、情報を分かりやすく提供するよう工夫し、また幅広く相談に応じる体制を整えます。</p>
		<p>行動3 個人や団体の主体的な活動を「つなぐ」</p> <p><u>個人や団体が活動を十分に楽しむことができるよう、より実践的な活動へ発展させ、自らが活動の運営を担っていくことができるよう、交流や連携の仕組みを整備し、個人や団体の活動をつないでいきます。</u></p>	<p>行動3 個人や団体の主体的な活動を「つなぐ」</p> <p>個人や活動サークルが交流や連携を通じてつながり、実践的な活動に発展させるための仕組みを整備し、様々な活動の運営を自ら担っていけるように支援します。</p>
		<p>行動5 <u>計画を推進する多彩な主体と「協働する」</u></p> <p><u>区民が主役の本計画において、個人や団体がさまざまな活動を主体的に担っていきけるよう支援します。そして、計画の推進を区に関わる全ての人で進めていくため、区民や大学、事業者や各種団体などと連携・協働していきます。</u></p>	<p>行動5 アカデミーを推進する多彩な主体と「協働する」</p> <p>計画の推進を区に関わる人みんなが進めていくため、区民や大学、事業所や各種団体などとの連携・協働を図っていきます。そして、区民や来訪者がこれまで以上に文京区で有意義な経験をし、豊かな時間を過ごせるよう努めていきます。</p>

第3章 計画の進め方

NO	素案(案)H22.11.16【修正後】		素案(たたき台)H22.9.30【修正前】
	ページ	内容	
10	P11 1 区民等との連携	<p>アカデミー推進計画を着実に推進していくためには、区民、地域活動団体、NPO（非営利活動団体）、<u>大学、事業者、地域が持っている多様な能力や特性を生かし、生涯においてさまざまな活動に主体的に取り組むことにより、人と人の絆を強め、自らが社会づくりの新たな公共の担い手であるという意識をひろめることが必要になります。</u></p> <p><u>新たな公共では、これまで行政が主として提供してきた公共サービスを、今後は行政だけでなく、地域において地域活動団体をはじめNPO（非営利活動団体）や事業者などさまざまな主体が担う仕組みを整えていくこととなります。区民等の自発的で多様な活動を中心として、地域のさまざまな組織と対等の立場で協働し、創造することが必要となります。そのことが、地域社会の中で、人とのつながりを生み、相互のネットワークを広げさらに活動を高めることにつながると考えられます。</u></p> <p><u>このような、区民、地域活動団体、NPO（非営利活動団体）、大学、事業者など新たな公共の担い手と区が互いの役割分担を認識して力を合わせ、「文の京」自治基本条例で自治の理念として掲げている「協働・協治」の考えに基づき、連携を進めていきます。</u></p>	<p>アカデミー推進計画を着実に推進していくために、区民、地域活動団体、大学、NPO（非営利活動団体）、事業者など新たな公共の担い手と区が互いの役割分担を認識して力を合わせ、「文の京」自治基本条例で自治の理念として掲げている「協働・協治」の考えに基づき、連携を進めていきます。</p>

<p>1 1</p>	<p>P11 2 計画の 推進体制</p>	<p><u>アカデミー推進計画は、区と区民等が共に「協働・協治」に基づき推進をするためにも、その根幹にある体制の整備と充実が必要です。</u> <u>本区には、庁内の連絡・調整組織としては、各種事業を全庁的に取り組む庁内組織として「文京アカデミー推進本部」があります。</u> <u>アカデミー推進部を中心として関連各課との連携・協力を充実させ、本計画に定めた各種活動の活性化のための施策・事業を総合的に推進していきます。</u> <u>また、アカデミー推進に関する区民参画による組織として、「文京区アカデミー推進計画策定協議会」を設置し、「文京アカデミー構想」の推進及び本計画の策定を行ってきました。</u> <u>今後は、アカデミー推進部で所管する3つの専門会議体との統合化を進め、学識経験者、公募区民委員、団体関係者等で構成する協議の場を新設し、本計画の進行状況の管理及び実施状況の点検・評価方法の整備を図り、計画の実効性を高めていきます。</u> <u>このような体制の整備を行い、従来にも増して連携・協働を進め、多方面からの幅広い意見・要望の把握、関係機関との連絡調整等をもとに、本計画の着実な推進に努めます。</u></p>	<p>アカデミー推進計画の推進において、行政内部の体制を整理し、学識経験者、公募区民委員、団体関係者等で構成する協議の場を設け、従来にも増して連携・協働を進め、多方面からの幅広い意見を聴取しながら、計画の効果的で円滑な推進に向けて取り組みます。</p>
<p>1 2</p>	<p>P12 3 計画の 進行管理</p>	<p>そのため、「Plan (計画) ⇒Do (実施) ⇒Check (点検・評価) ⇒Action (見直し)」のP D C Aサイクルに基づく進行管理を実施し、アカデミー推進計画全体の着実な推進を図っていきます。 <u>本計画は、財政状況や制度の改正などの変化に対応するため、5年ごとに計画の見直しを行い、基本構想実施計画との調整を図りながら計画の目指すべき方向や実効性を確保していきます。</u></p>	<p>そのため、「Plan (計画) ⇒Do (実施) ⇒Check (点検・評価) ⇒Action (見直し)」のP D C Aサイクルに基づく進行管理を実施し、アカデミー推進計画全体の着実な推進を図っていきます。</p>

II 各論

第1章 生涯学習

NO	素案(案)H22.11.16【修正後】		素案(たたき台)H22.9.30【修正前】
	ページ	内容	
13	P15 【事業例】 (1)多様な講座や学習機会の提供・充実	(事業名(例)) 「文京 <u>地域学</u> 」講座の企画・実施 (概要) <u>文京の地で開花した文化、これまでの歴史や地勢をはじめとして、多面的に学べる講座を企画・実施する。～</u>	(事業名) 「文京学」講座の企画・実施 (概要) 文の京で開花した歴史や文化、地勢をはじめとして、多面的に学べる講座を企画・実施する。～
14	P16 【事業例】 (3)だれもが学習・活動しやすい仕組みづくり	(事業名(例)) 講座・講演会等での保育サービスの推進 (概要) 幼児を持つ保護者の学習活動への参加を支援するため、講座・講演会等の開催時に保育室の設置を促す。	記載なし
15	P17 期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> 区民一人ひとりのニーズに対応できる多様な学習や活動の機会が得られることで、区民がいきいきと過ごせるようになるとともに、本区の生涯学習活動が盛んになります。 学習や活動の場として、区有施設のみならず、区内の大学や事業所等の施設がさらに利用しやすくなることにより、区民の学習や活動がより豊かになります。 さまざまな状況にある区民が、ニーズに応じた学習や活動に積極的に取り組むことができるようになります。 区内の学習の場としての区立図書館の機能が高まり、区民が学習や活動に深く取り組むことができます。 	記載なし

16	P20 期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習に関する情報を収集・整理することにより、区民の学習や活動に有効な情報を提供することができます。 区民が必要な情報を気軽に得られるようになることで、学習や活動をより活発に進めることができるようになります。 学習や活動に関する不安・悩みが解決されることで、区民が学習や活動により深く取り組むことができるようになります。 学習に関する情報を得る身近な場所として区立図書館の機能を高め、地域の情報拠点としての役割を果たしていきます。 	記載なし
17	P24 期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> 区民の主体的な学習や活動が促進され、積極的に生涯学習活動に参加できるようになります。 成果を披露する機会があることで、学習や活動へのモチベーションを高く維持することができます。 将来につながる人材を育成することにより、本区の生涯学習をより豊かなものとしていくことができます。 育成した人材等を活用することで、学習や活動が活性化されるとともに、それぞれの人材が持つ知識や経験が地域に還元されます。 	記載なし

第2章 スポーツ

NO	素案(案)H22.11.16【修正後】		素案(たたき台)H22.9.30【修正前】
	ページ	内容	
18	P25 1 スポーツのきっかけづくり 【現状と課題】 意見	このように本区では、さまざまなスポーツの機会を提供し、 <u>区内では多くのスポーツが行われている一方で、区民の約半数が日頃スポーツをしていないという現状があります。</u>	このように本区では、様々なスポーツ活動の機会を提供し、多くの区民がスポーツを行っていますが、一方で日頃スポーツをしていない人も多くいるのが現状です。
19	P26 (1) スポーツに関する情報の発信と相談窓口の設置	(事業名(例)) スポーツ総合情報・ <u>相談体制の整備</u> (概要) <u>保健や医療を含めた区内全体のさまざまなスポーツ関連情報の提供や問い合わせ、相談等に対応できる体制を整備する。</u>	(事業名) スポーツ総合情報窓口の設置 (概要) スポーツセンター及び総合体育館にスポーツ総合情報窓口を設置し、区内全体のスポーツ関連情報に関する様々な問い合わせ等に対応します。
20	P27 <u>期待される効果</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツに関する情報の提供や相談・問い合わせの対応が進むことにより、区民が必要な情報を得てスポーツに取り組むきっかけづくりや継続性の確保が行えます。 ・ 日頃スポーツをしていない人へもスポーツに関する情報発信や機会が十分に届くことにより、多くの区民が気軽にスポーツを楽しむことができるようになります。 	記載なし
21	P29 【基本的な方向】 意見	<p>(3) 多様なニーズに対応するプログラムの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>仕事・家事・育児等の理由でスポーツをしていない区民が参加しやすいプログラムづくりや、年齢や体力、<u>介護予防、障害等</u>に応じた多様で柔軟なプログラムづくりを行い、全ての区民がスポーツを楽しむことができる環境づくりを目指していきます。</u> 	<p>(3) 多様なニーズに対応するプログラムの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>仕事・家事・育児等のために、なかなかスポーツができない区民が参加しやすいプログラムづくりや、年齢や体力、障害等に応じた多様で柔軟なプログラムづくりを行い、全ての区民がスポーツを楽しむことができる環境づくりを目指します。</u>

2 2	P30 【事業例】 (1) スポーツ施設の整備・充実	(事業名 (例)) (仮称)新総合体育館の建設 (概要) 老朽化した文京総合体育館を旧第四中学校跡地に建て替え、平成 25 年 4 月に開館することにより、区民が気軽にスポーツに親しめるきっかけづくりの場を提供するとともに、区民の生涯スポーツの普及・振興と健康の維持・増進を図る。	記載なし
2 3	P30 【事業例】 (1) スポーツ施設の整備・充実	(事業名 (例)) 旧第五中学校体育館のリニューアルオープン (概要) 区民の身近なスポーツの場を充実するため、旧第五中学校体育館を耐震補強、バリアフリー対策等の改修工事を行い、平成 24 年度に区内第三の区民体育館として開館する。	記載なし
2 4	P30 【事業例】 (1) スポーツ施設の整備・充実	(事業名 (例)) <u>健康・体力づくりのためのスポーツ環境の整備</u> (概要) 区内の <u>さまざまな施設</u> 等で、気軽にウォーキング等、健康・体力づくりのためのスポーツができる <u>環境の整備を推進する。</u>	(事業名) 区立公園の整備・改修の推進 (概要) 区内の公園等で、気軽にウォーキングやランニングなどのスポーツができる環境づくりを進めます。
2 5	P31 【事業例】 (3) 多様なニーズに対応するプログラムの提供 意見	(事業名 (例)) さまざまな世代等の <u>ニーズに対応した</u> スポーツプログラムの提供 (概要) 各種スポーツ団体等と連携・協力して、 <u>健康づくり事業や体力づくり事業等、介護予防などさまざまな世代等のニーズに対応した</u> スポーツプログラムの充実を図るとともに、区内大学と連携・協力したスポーツプログラムを検討する。	(事業名) 様々な世代等のニーズにマッチしたスポーツプログラムの提供 (概要) 各種スポーツ団体等と連携協力して、「健康づくり教室」「ファミリースポーツデー」等、様々な世代のニーズにマッチしたスポーツプログラムの充実を図るとともに、区内大学と連携協力したスポーツプログラムを検討します。また、「障害者運動会」等、障害者向けスポーツプログラムの充実を図ります。

26	P31 【事業例】 (3) 多様なニーズに対応するプログラムの提供	(事業名 (例)) <u>ジュニア育成の充実</u> (概要) スポーツマンシップを尊重し、スポーツのフェアプレー精神等を学び大切にしながら、スポーツを楽しめるプログラムを提供するとともに、 <u>子どもたちの健康・体力づくりと競技力向上のための体制づくりを推進する。</u>	(事業名) スポーツマンシップを尊重したスポーツプログラムの提供 (概要) スポーツマンシップを尊重し、スポーツのフェアプレー精神等を学び大切にしながら、スポーツを楽しめるプログラムを提供します。
27	P31 期待される 効果	<ul style="list-style-type: none"> 区民がスポーツを楽しむことのできる環境の充実が図られ、区民が区内のさまざまな場所でスポーツに親しむことができるようになります。 さまざまな状況にある区民が、それぞれのライフステージやライフスタイル、ニーズに応じてスポーツを楽しむことができるようになります。 多様なニーズに対応するプログラムが設けられることによって、スポーツを楽しみたい人だけでなく、競技力向上を目的としている人にとっても、充実したスポーツ環境が整えられます。 スポーツを通じた地域交流の活性化により、区全体における豊かなスポーツ環境の形成につながります。 	記載なし
28	P32 【基本的な方向】	(1) プロスポーツ団体等との連携・協力 <ul style="list-style-type: none"> 区内に拠点を持つ<u>プロスポーツ団体等</u>との連携・協力体制を構築し、区民がより一層レベルの高いスポーツを身近に観戦できる機会を多く提供し、区民がスポーツに関心を持てるようにしていきます。 	(1) プロスポーツ団体等との連携・協力 <ul style="list-style-type: none"> 区内に拠点を持つ読売巨人軍、日本サッカー協会 (JFA)、講道館といったスポーツ団体等との連携・協力体制を構築し、区民がより一層レベルの高いスポーツを身近に観戦できる機会を多く提供し、区民が各種のスポーツに関心を持ってもらえるようにしていきます。

29	<p>P33</p> <p>【事業例】</p> <p>(1) プロスポーツ団体等との連携・協力</p> <p>意見</p>	<p>(事業名 (例))</p> <p>スポーツ観戦応援事業</p> <p>(概要)</p> <p><u>区内に拠点を持つプロスポーツ団体等との連携・協力により、区民粋のような仕組みや区民の特典を設けるなど、より一層レベルの高いスポーツを身近に観戦できる機会を提供する。</u></p>	<p>(事業名)</p> <p>スポーツ観戦応援事業</p> <p>(概要)</p> <p>区内に拠点を持つ読売巨人軍、日本サッカー協会 (JFA)、講道館等との連携・協力により、区民粋のような仕組みや区民の特典を設けるなど、より一層レベルの高いスポーツを身近に観戦できる機会を提供し、区民がスポーツに関心を持ってもらえるようにします。</p>
30	<p>P33</p> <p>(2) スポーツ観戦機会の拡充</p> <p>意見</p>	<p>(事業名 (例))</p> <p>地元スポーツ応援の仕組みづくり</p> <p>(概要)</p> <p><u>教育機関やスポーツ団体との連携・協力体制を整備し、学校や地域のクラブチームなど、身近なスポーツ団体等の試合観戦や地元チームやオリンピック・パラリンピック等の地元アスリートを応援できるような仕組みづくりや事業展開を推進する。</u></p>	<p>(事業名)</p> <p>地元スポーツ応援の仕組みづくり</p> <p>(概要)</p> <p>教育関係機関等との連携・協力体制を整備し、学校や地域のクラブチームなど、身近なスポーツ団体等の試合観戦や地元チームや地元アスリートを応援できるような仕組みづくりや事業展開を図ります。</p>
31	<p>P34</p> <p>期待される効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ プロスポーツ団体や大学等との連携・協力が進むことにより、区民がプロスポーツに親しむことのできる機会が増加し、区民のスポーツへの興味を高め、本区のスポーツ振興につながります。 ・ 身近な場所でのスポーツ観戦機会の拡充により、区民がスポーツに親しむことのできる機会が増加し、スポーツへの関心を高めることができます。 	<p>記載なし</p>
32	<p>P35</p> <p>4 スポーツ指導者の育成【現状と課題】</p> <p>意見</p>	<p>本区には、<u>区内のスポーツ振興に寄与するスポーツ指導者として、スポーツ振興全般を担う体育指導委員と種目ごとの実技指導を行うスポーツリーダーが区長からの委嘱を受け活動しています。このほか、区内スポーツ団体にも多くのスポーツ指導者がおり、区内のスポーツ振興に寄与する活躍をしています。例えば、区立小・中学校施設を活用し実施してい</u></p>	<p>本区には、体育指導委員、スポーツリーダーなど、区のスポーツ振興に寄与する多くのスポーツ指導者が活動しています。区立小・中学校で実施している「スポーツ交流ひろば」をはじめとして、各種スポーツ教室、地域のスポーツサークル等の団体への技術指導、毎年体育の日に体力測定やスポーツ体験等を行っている「ファミリースポーツデー」など、広範にわたり多くの指導者が区民のスポーツ</p>

		<p><u>るスポーツ事業、各種スポーツ教室、地域のスポーツサークル等への実技指導、毎年体育の日に開催している体力測定等のイベントなど、広範にわたり多くの指導者が区民のスポーツ指導にあっています。</u></p> <p><u>本区では、これらのスポーツ指導者を対象に、メンタルトレーニングや健康指導などの講習会を開催しており、それぞれの指導者は、各団体の会合や広報紙等により、スポーツに関する情報交換等も行っています。</u></p> <p><u>しかしながら、現在、夜間・休日でない活動できない区民向けの指導者、子育て世代など昼間に活動している区民向けの指導者、高齢者や障害者等を対象とした指導者が十分に確保できないなどの現状があります。</u></p> <p><u>一方で、地域にはさまざまなスポーツを経験した指導者等の人材が多く存在していると考えられますが、それら人材の有効活用は十分とはいえません。</u></p>	<p>指導にあたっています。これらのスポーツ指導者を対象に、メンタルトレーニングや健康指導などの講習会を開催しており、それぞれの指導者は、各団体の会合や広報紙等により、スポーツに関する情報交換等も行っています。</p> <p>しかしながら、現在、勤務時間外の夜間・休日でない活動できない勤労者の指導者や子育て世代など昼間に活動している人を指導できる指導者や、高齢者を対象とした指導者が十分に確保できないなどといった課題があげられています。</p>
33	<p>P36</p> <p>期待される効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ指導者の育成と確保により、区民のスポーツ活動の充実が図られます。 ・ スポーツ指導者の技術等の強化により、区民のスポーツの質の向上と、スポーツへの満足度の向上が図られます。 	記載なし

第3章 文化芸術

NO	素案(案)H22. 11. 16【修正後】		素案(たたき台)H22. 9. 30【修正前】
	ページ	内容	
34	P40 期待される 効果	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞の機会の増加により、これまで関心を持たなかった区民が文化芸術に親しむ機会が拡大します。 参加や創造、成果披露の機会が充実することで、やりがいや満足感が得られ、区民の文化芸術活動がより豊かなものとなります。 区内の文化的・歴史的資源にふれる機会が増えることで、これまで以上に地域を知り、地域への愛着と誇りを高めていくことができます。 さまざまな状況にある区民が、自分の都合やニーズに合わせて文化芸術活動を楽しむことができるようになります。 	記載なし
35	P43 期待される 効果	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術に関するあらゆる情報を収集・整理し、効果的に区民に提供することができます。 区民が必要な情報を気軽に得られるようになることで、文化芸術活動をより活発に進めることができるようになります。 文化芸術活動に関する疑問や悩みが解決されることで、より深く活動に取り組むことができるようになります。 	記載なし
36	P46 (3) “伝える人”の育成と発掘の推進 意見	<p>(事業名 (例)) <u>地域文化インタープリター等</u>の活用 (概要) <u>地域文化の解説・案内のために必要な知識・技術を学び、地域の文化事業に貢献する「地域文化インタープリター」等の活用を図る。</u></p>	<p>(事業名) 生涯学習支援者の活用 (概要) 地域での生涯学習のリーダーとなる「生涯学習司」、地域文化の解説・案内のために必要な知識・技術を学び、地域の文化事業に貢献する「文の京地域文化インタープリター」など本区独自の資格取得者、及びアカデミア講座運営のサポーター養成講座を開催し、修了者の活用を図る。</p>

37	<p>P46 (5)文化財の発掘と保存の推進 意見</p>	<p>(事業名(例)) 文の京映像資料等アーカイブの構築 (概要) 文京区内で撮影された映像資料を収集・保存(アーカイブ化)し、区の様子や区民の生活の様子に関する映像資料を残していく。 <u>また、当時の様子を知っている人から、逸話などを聞き取って資料とすることも検討する。</u></p>	<p>(事業名) 文の京8ミリフィルムアーカイブの構築 (概要) 文京区内で撮影された8ミリフィルムを収集し、アーカイブ化することで、区の様子や区民の生活の様子に関する映像資料を残していく。</p>
38	<p>P47 <u>期待される効果</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化芸術活動を通して豊かな時間を過ごす区民が増え、区全体の「文化力」が高まります。 ・ “活動する人・団体”への支援が充実することにより、区内での文化芸術活動が活性化され、文化芸術活動に積極的に携わる区民を増やすことができます。 ・ 本区の伝統文化やその他の芸術分野について教えることのできる区民が増え、未来へ継承していくことができます。 ・ さまざまな知識や経験を有している人材を活用することで、本区の文化芸術の振興が進みます。 ・ 区内にある文化財の発掘と保存が進み、貴重な資料の保存が進むとともに、本区の文化芸術を活性化していくための材料を確保することができます。 	<p>記載なし</p>

第4章 観光

NO	素案(案)H22.11.16【修正後】		素案(たたき台)H22.9.30【修正前】
	ページ	内容	
39	P50 【事業例】 (2) 文の京を分かりやすく伝えるストーリー性ある観光コースづくり 意見	(事業名(例)) 観光資源を活かしたツアーづくり (概要) 区内に点在する観光資源の魅力を最大限引き出すために、歴史や文化、伝統工芸、建物や庭園、食、 <u>健康</u> などの観光資源を幅広いテーマに基づいて組み合わせ、文の京の魅力を学んだり、体感したりできる新たなツアーづくりを進める。	(事業名) 観光資源を活かしたツアーづくり (概要) 区内に点在する観光資源の魅力を最大限引き出すために、歴史や文化、伝統工芸、建物や庭園、食などの観光資源を幅広いテーマに基づいて組み合わせ、文の京の魅力を学んだり、体感したりできる新たな観光ツアーづくりを進める。

第5章 国際交流

NO	素案(案)H22.11.16【修正後】		素案(たたき台)H22.9.30【修正前】
	ページ	内容	
40	P64 期待される 効果	<ul style="list-style-type: none"> 国際理解に関するさまざまな講座等が効果的に実施されることにより、区民の国際理解が進みます。 区内の歴史・文化・産業等の資源を活用して本区の魅力を伝えていくことにより、外国人の日本への理解が高まります。 大学や事業者、国際交流団体等との協働が行われることにより、国際理解に関する取り組みを幅広く進めることができます。 区民が国際理解を深める経験を持つことにより、国際交流に参加するきっかけに結び付けていくことができます。 	記載なし
41	P67 期待される 効果	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流に関する情報発信や区民等の連携が活発に行われることにより、国際交流事業が広く周知され、関心を持つ区民や外国人の参加が増加するとともに、交流の拠点の充実につながります。 区民や外国人の有する経験や技能の活用が促進されることにより、多様な国際交流事業を実施することができます。 姉妹都市や海外都市との交流を市民が中心となって行うことにより、区民の参加が増加します。 区民が国際交流に参加する経験を持つことにより、外国人が地域で快適に暮らせることへの関心に結び付けていくことができます。 	記載なし

4 2	P69 期待される 効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活関連情報等の多言語対応が進むことにより、外国人にとって必要な情報の取得が容易になります。 ・ 外国人の日本語習得が進むことにより、外国人が日本で生活する困難さが軽減します。 ・ 外国人の地域活動への参加が促進されることにより、地域社会の一員としての交流や結びつきが生まれます。 ・ 外国人が地域で快適に暮らすことにより、外国人と区民が共に活力ある地域社会を築くことに結び付けていくことができます。 	記載なし
-----	--------------------	---	------

第6章 分野横断型プロジェクト

NO	素案(案)H22. 11. 16【修正後】		素案(たたき台)H22. 9. 30【修正前】
	ページ	内容	
43	P70, 71 第6章分野 横断型プロ ジェクト	<p>本計画を通じて区民や来訪者が文京区で豊かな時間を過ごすため、生涯学習・スポーツ・文化芸術・観光・国際交流の各分野の事業を実施するとともに、関連分野が総合的に事業を進めていくことができるよう、分野横断型プロジェクトを実施します。</p> <p>プロジェクト 例1 森鷗外に親しむ ―生誕150周年―</p> <p>明治の文豪森鷗外は、明治25年に（仮称）森鷗外記念館の建設地である駒込千駄木町21番地（現：文京区千駄木一丁目23番4号）に移り住み、以来、大正11年に亡くなるまで30年間この家で生活をした。その間、軍医としての仕事のかたわら、無縁坂を舞台にした「雁」や「舞姫」をはじめとする多くの名作を発表し続けた。</p> <p>作家活動の大半を行い、数多くの作品を文京区で執筆した鷗外が平成24年に生誕150周年を迎えることを受け、鷗外に親しむことのできる記念事業を実施する。近代日本文化の先覚者として多くの足跡を残した鷗外の文学と人物を深く知ることができるよう、その当時の生活の様子や文京区の姿などを広く発信し、魅力を紹介していく。</p> <p>【事業例】 （生涯学習）森鷗外の作品を読む会の開催、森鷗外を知る会の開催等 （文化芸術）「（仮称）森鷗外記念館」の新設、森鷗外ゆかりの文人などとの多様なテーマの企画展示の開催 等</p>	記載なし

		<p>(観 光) 森鷗外作品に出てくる区内の場所をめぐる、森鷗外コースガイドボランティア実施 等</p> <p>プロジェクト 例2</p> <p>ふみ みやこ</p> <p>文京地域学 一文の京 とそこに生きる</p> <p>人々の暮らし・文化・伝統を知る一</p> <p>文京区への愛着と誇りを高め、区の歴史や文化を大切にす意識と姿勢を醸成することを目的に、文京区でどのような人々がどのように生活してきたかなど、文京区を多面的に学べる分野横断型講座やフィールドワークなどを文京地域学として企画・実施する。</p> <p>このプロジェクトの担い手については、行政だけでなく区民や大学等の教育機関、NPO（非営利活動団体）などの市民団体から趣味のグループまで、多様な実施主体によって企画・実施することを目指す。</p> <p>これらの事業を通して、地域で暮らす区民や来訪者等の文京区への知識の向上や関心がより一層深まり、先人たちが築いてきた文京区の歴史や文化等の地域特性を後世に受け継いでいけるよう、取り組みを進める。</p> <p>【事業例】</p> <p>(生涯学習) 文京区の地勢や歴史を知る講座の実施、文京区民の生活史を知る講座の実施 等</p> <p>(スポーツ) 文京区ゆかりの人や史跡をめぐる（距離に応じてコースを設定）等</p> <p>(文化芸術) 文京区ゆかりの人が残した資料や史跡を見て・ふれて・学ぶ 等</p> <p>(観 光) 文京区の伝統工芸体験ツアー、観光コースガイドボラ</p>	
--	--	---	--

		<p>ンティア育成講座等 (国際交流) 外国人から見た文京区などをテーマとした懇談会 等</p> <p>プロジェクト 例3</p> <p style="text-align: right;">ふみ みやこ</p> <p>アカデミーフェスティバル — 文の京を楽しむ —</p> <p>区民や来訪者自身の学習や活動の充実や、何かをはじめめる機会となること、そして、新たな交流が生まれるきっかけとなることを目的にアカデミー推進期間を設定し、文化・生涯学習施設やスポーツ施設など区内全域で各種イベントや成果・活動状況の発表、講演会等を集中的に実施する。期間中は各会場をめぐることのできるコースマップ等を作成し、さまざまな体験ができる仕組みづくりを行う。</p> <p>また、事業の運営には区民、団体、企業等が参加し、参加体験型のプロジェクトとして進めていく。</p> <p>【事業例】</p> <p>(生涯学習) 生涯学習団体による講座の実施、生涯学習相談 等</p> <p>(スポーツ) スポーツ団体等協働事業の開催、健康教室の開催 等</p> <p>(文化芸術) 文化芸術連盟・サークルによる発表会や展示会、体験教室 等</p> <p>(観光) まちあるきイベントの実施、「文の京ブランド」食の魅力コンテスト開催 等</p> <p>(国際交流) 国際交流団体によるイベント開催、サークル紹介 等</p>	
--	--	--	--